

# 土砂災害に備えて

大雨や地震時に備えて、土砂災害警戒区域や避難場所を確認しておきましょう

**雨が強くなってきたら、積極的に雨量情報・予報・警報等入手しましょう！！**

- ・テレビラジオ等で気象情報を確認しましょう
- ・雨が強くなってきたら、電話やインターネットで確認しましょう

## 宇都宮気象台NTT 気象サービス

TEL 028-177自動応答装置(宇都宮等の実況)  
TEL 028-638-4444  
<http://www.jma-net.go.jp/utsunomiya>

## とちぎリアルタイム雨量河川水位観測情報

TEL 028-643-2451  
<http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/>

## とちぎ土砂災害警戒情報

[http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya\\_kei](http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp/dosya_kei)



## 避難準備情報が出たら...

高齢者など災害時などに避難時間を要する方は、避難を開始してください。一般の方も家族との連絡、非常用持出品の用意等、避難準備を開始してください。

## 避難勧告が出たら...

指定された避難場所等への避難行動を開始してください。

## 避難指示が出たら...

すぐに避難してください。避難場所への避難が困難な場合は、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の外へ至急避難し、生命及び身体を守る最低限の行動をしてください。

## 高齢者などの避難に協力を

高齢者・子ども・病人・障がいのある方は、早めの避難が必要です。こういった方の避難に協力しましょう。

また、こういった方の避難をお手伝いする地域ぐるみの取組(災害時要援護者支援制度)にもご協力お願い致します。

## あなたの行動

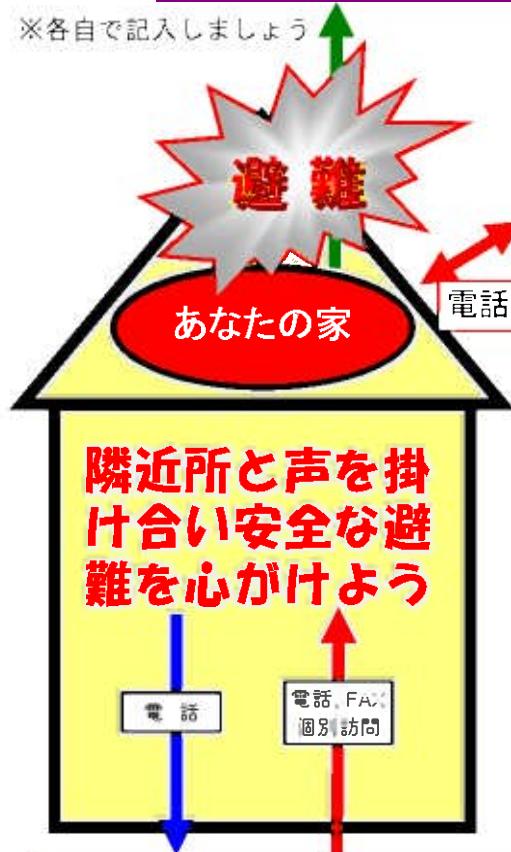
あなたの避難場所

## 家族等の緊急連絡先をメモしておきましょう

**前兆現象を見つけたら直ちに市役所・自治会長などに連絡しましょう。また、危険を感じたら隣近所声を掛け合って自主避難してください。**

土砂災害の種類	前兆現象
急傾斜地の前壊(がけ崩れ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がけに割れ目が見える</li> <li>・がけから水がわき出ている</li> <li>・がけから小石がばらばらと落ちてくる</li> </ul>
土石流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急に川の流が濁り流木が混ざっている</li> <li>・山鳴りがする</li> <li>・雨が降り続いているのに川の水位が下がる</li> </ul>
地すべり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沢や井戸の水が濁る</li> <li>・地面にひび割れができる</li> <li>・斜面から水が噴出する</li> </ul>

※各自で記入しましょう



**隣近所と声を掛け合い安全な避難を心がけよう**

自治会長・自主防災会長住所:  
電話:  
FAX:

※各自で調べて記入しましょう

## 宇都宮市

登録制メール配信サービス(防災)をお役立てください。

### 【配信サービス内容】

- ・雨量情報(注意報や警報など)
- ・避難勧告、指示情報など
- ・河川の情報(水位など)

そのほか、不審者情報や消防の出動情報など

※携帯電話へのメール配信を希望される方は、お使いの携帯電話から上記のQRコードを読み込ませ、案内に従い登録を行ってください。  
※登録料・情報提供料は無料ですが、通信に係る費用は利用者のご負担になります。



消防署  
消防団

広報車

**避難場所**

## ～雨の強さと災害の発生状況～

1時間雨量	人が受けるイメージ	災害発生状況
10～20ミリ	ザーザー降る	長時間にわたって降り続く時は注意が必要
20～30ミリ	どしゃ降り	溝溝・下水・小河川等があふれ、小規模ながけ崩れが始まる
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ・がけ崩れが発生しやすくなり、危険箇所では避難準備が必要
50～80ミリ	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	土石流等が発生しやすくなり、道路等の冠水などが起こりやすい。多くの災害が発生する。
80ミリ以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	大規模な災害が発生するおそれがあり、厳重な警戒が必要である。

**避難勧告などが発令された場合直ちに避難しましょう。避難の際は次のようなことに気をつけましょう。**

避難場所へ避難する際は、他の土砂災害危険箇所や溢水している水路や冠水している道路を避けた避難経路を選択しましょう。また逃げる際は溪流から離れた場所を選定し危険箇所から離れてください。